

『銃口』研究会

三浦綾子研究会



毎回驚きの発表と資料、理解が深まってゆく豊かな懇談と解説。

「最高に楽しいです！」との興奮と喜びの声を頂きながら、充実の第Ⅰ期が終わろうとしています。毎月第1金曜の夜は『銃口』研究会！広く深く、エキサイティングな三浦文学の深みへ、

ご一緒しましょう。6月2日（金）第Ⅱ期スタート。下巻は三浦文学の真の集大成です。綾子さんの遺言と祈りを豊かに読みましょう。下巻からでも問題ありません。

ゆっくりと、各自のできるレベルで研究しますが、三浦綾子研究の最先端でもあります。

『銃口』という大きな山に登ることで、三浦文学全体の理解も豊かに広がり深まります。

研究会の概要 *

- ・2023年6月～2024年5月までの12回ですが、盛り上がっているので、自主課題発表で数か月の延長があります。
- ・毎月第1金曜日19:30～22:30の3時間の例会。（ご都合で遅刻、早退しても見逃し配信があります）
- ・オンライン ZOOM で開催し、事後に全員に見逃し配信があります。全回見逃し配信での聴講も可能です。
- ・すべての発表で担当者による資料が作成され、全参加者（研究、聴講、見逃し、どの参加形態でも）に配布されます。
- ・資料研究では、『銃口』巻末の参考資料（森下所蔵本で、入手困難なものもあります）等をお貸しすることができます。
- ・発表準備には、必要なサポート（丁寧なアドバイスほか）をさせていただきますから、心配いりません。
- ・三浦綾子記念文学館所蔵の貴重な資料の研究の発表も毎回あります。

会員種別と参加費 *

- ①研究会員：資料系発表、読解発表、自主課題発表から、1～3回の発表を選ぶことができます。
* 自主課題発表、資料系発表は1回まで、読解は2回まで。定員は発表枠が埋まる15～20名程度の見込み。
A：発表回数1回 22000円 B：発表2回 26000円 C：発表3回：30000円
 - ②聴講会員 D：聴講し、懇談に参加（質疑応答時に発言） 18,000円（定員なし）
E：聴講のみ・懇談時発言なし 15,000円（定員なし） F：見逃し配信のみ 12,000円（定員なし）
- ・会費は1年ごとの定額制（* 途中退会の返金なし、途中からの参加、途中での参加種別変更の場合は別額）。
 - ・会期が延長の場合も追加参加費はなし。一回だけのお試し聴講も歓迎です。お問い合わせください。

募集締め切り *

研究会員：定員が埋まるまで（まだ10枠ほどの空きがあります） 聴講会員：6月1日（木）
お申し込み、お問い合わせ shiokaripass@gmail.com 電話 090-2058-5978（いずれも森下）

各回の進め方 **** 休憩を入れて前後半2部構成。180分（3時間）。ご都合での途中退席可（見逃し配信あり）

- 【Ⅰ 研究発表】70分 ①資料系研究発表（25分・1名） ②作品読解研究発表（25分・1名）（終盤は自主課題発表）
③創作ノート研究発表（15分・担当者固定） * 休憩ほか 15分
- 【Ⅱ 懇談】90分 ①質疑応答（30分） ②ディスカッション（45分） ③短い講義と打合わせ（15分・森下）

研究発表 ****

- ①資料系研究発表：三浦綾子が執筆に使った資料の研究
 - ②読解研究発表：各回の章を読み、読解を発表します。
 - ③創作ノート研究：林香苗氏が毎回担当。三浦綾子記念文学館の協力で所蔵の創作ノート及び参考資料を研究。
 - ④自主課題研究：第Ⅱ期の今回は最後に自分で課題を決めて研究発表する回を持ちます。
- * 各回の資料研究課題や章、担当の表、やり方などはお申し込み時に資料を差し上げます。説明もいたしますので、ご心配なく。

協力：三浦綾子記念文学館

主催：三浦綾子読書会研究部門